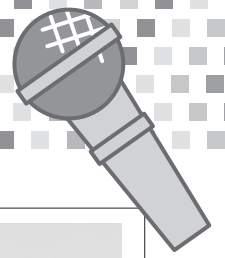


# 新規採用教員へのインタビュー



岡本 久瑠美 おかもと くろみ

倉敷市立西中学校 教諭  
(令和7年度採用)

自己紹介

今年度から中学校美術の教諭として採用されました。2年生を担当しています。1年生と2年生の授業を担当し、美術部の顧問も担っています。

**Q** 教員を目指した理由を教えてください。

小さい頃から人に教えることが好きで、先生の仕事に興味を持っていました。また、絵を描くことも好きで、イラストレーターに憧れていた時期もありました。先生になりたいという思いが強くなったきっかけは、中学校の美術部での経験です。初めは、吹奏楽部と迷ったのですが、祖父から「絵の力を伸ばしたらどうか」と勧められ、美術部に入部しました。祖父は、私の可能性を信じて、背中を押してくれていたのだと思います。美術部では、様々なコンクールに挑戦しました。初めは思うよ

うに描けず悩むことがありましたが、顧問の先生が私の絵を見て、「いいね」「もっとできるよ」と温かい声をかけてくださいました。その言葉のおかげで、嬉しい気持ちになり、「もっと描いてみよう」と自然に絵と向き合

う時間が増えました。努力を重ねる中で、コンクールでは知事賞など賞をいただくこともあり、「努力すれば、自分はこのまでできるんだ」と自信を持つことができました。控え目だった過去の自分が、積極的に挑戦するようになったのはこの経験があったからです。このような経験は、私の人生にとって大きな転換期でした。誰かに認められ、励まされることで人は前に進むことができると思います。その思いから、「今度は私が子どもたちの夢を後押しする存在になりたい」と決心し、中学校の先生を目指すようになりました。

高校でも美術部に入部し、加えて絵画教室にも通い、本格的に美術を勉強しました。大学進学にあたっては、芸術学部にも魅力を感じていましたが、自分の夢を叶えるために、教育に関する知識や実践力を身につけたいと考え、教育学部に進学しました。



授業の様子

**Q** 教員採用試験の対策について教えてください。

教員採用試験では、特に面接練習に力を入れて取り組みました。自分の考えを話す時に話が冗長になりがちなところがあつたため、端的に伝えることを

意識して練習を重ねました。大学には教職希望者を対象にした「教職相談室」があり、そこで多くのご指導をいただきました。中学校（美術）の教員採用試験では、実技試験があります。高校ではスランプのような状況となり、思うような結果は残せませんでした。中学校の頃から大学まで継続して努力を積み重ねてきたので、自信をもって試験に臨むことができました。

**Q** 授業で大切にしていることを教えてください。

私が授業で大切にしていることは、生徒一人一人の表現の価値を見つけ、それを言葉で伝えることです。授業では、作品の完成度だけに着目せず、生徒それぞれのアイデアや表現に込めた意図など、作品の完成までのプロセスに目を向けるようにしています。生徒自身が「うまくできなかった」と感じている時でも、その子なりに工夫した所やユニークな発想に注目し、その子なりの表現の良さを言葉にして伝えていきます。美術には、

数学のように決まった答えはありません。だからこそ、失敗ややり直しも含めて表現のひとつだと捉え、生徒が安心して制作できる雰囲気づくりも大切にしています。試行錯誤を重ねながら、自分なりの表現を生み出していくことが、美術の学びだと私は考えています。また、美術室には生徒作品や芸術作品の図版を掲示し、多様な表現に自然と触れられる環境を整えています。生徒が作品を見て、自分と他者の表現の違いに気づき、互いに刺激を受けながら発想を広げていってほしいと願っています。



授業の様子

**Q** 教員の仕事のやりがいを教えてください。

生徒の成長を一番近くで感じられるところに、教員の仕事の魅力とやりがいを感じています。私は朝の会などで、「こんな姿を目指してほしいな」という思いを、生徒に自分の言葉で伝えていきます。その思いを受け止め、生徒が少しずつ行動に移し、継続して取り組んでいる姿を見ると「ちゃんと伝わっているんだな」「成長しているな」と嬉しくなります。指導は、すぐに成果が見えるものではありません。自分の経験不足も原因で、なかなかうまくいかないことが多いです。しかし、その度に生徒との関わりを振り返りながら、悩んだり、伝え方を改善したりしています。そうした試行錯誤も含めて、この仕事のおもしろさだと感じています。また、生徒との日々の関わりの中で、自身が学ばされることも多くあります。生徒と一緒に成長していけることが、教員という仕事のやりがいだと思っています。

**Q** 職場の環境はどうか。

先生方はいつも声をかけてくださり、相談がしやすい環境です。分からないことがあれば、必ず先生方に確認しながら取り組むようにしています。自分で考えることも大切になっていますが、自分の判断だけで大きなミスをしてしまうことがないように、慎重に仕事を進めています。実は、中学生の頃にお世話になった美術部の先生と本校で一緒に勤務させていただいています。中学校以来の再会となり、とても嬉しく思っています。

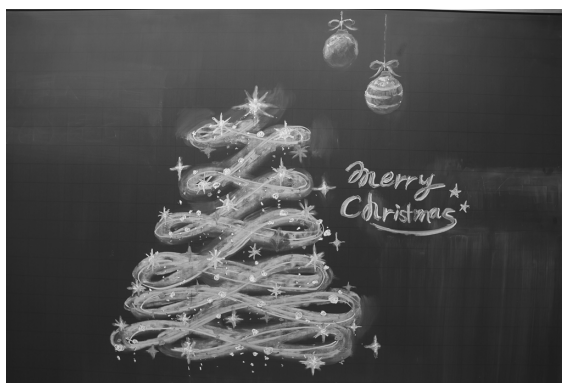


生徒と対話しながら制作を手伝っている様子

**Q** 今後の抱負を教えてください。

今後は、先を見通して行動することを意識して、より効率的に業務に取り組んでいきたいと考えています。また、わかりやすい授業づくりや、生徒の発想を広げる働きかけなど、授業改善にも引き続き力を入れていきたいです。

あわせて、生徒一人一人と、これまで以上にコミュニケーションをとることも大切にしていきたいです。



教室の黒板に描いたクリスマスツリー